THE MEMORIES OF ANAHEIM 2015

はじめに

公益財団法人水戸市国際交流協会
理 事 長　　幡 谷　　祐 一

水戸市の代表として、平成 27 年度の水戸市学生親善大使がアメリカの文化と歴史を学び、相互理解と友好親善の目的を果たして、無事帰水いたしました。小野司寿男先生を団長とし、7 月 24 日から 8 月 3 日までの日程でアナハイム市にホームステイしました。

歴史、文化、言葉の壁を超えて得たアナハイムでの友情、体験、思い出は、これからの人生を豊かなものにすることでしょう。互いに認め合うことができる国際人として羽ばたくためのステップになると、確信しております。

学生親善大使経験者の皆さんには、今回の派遣で終わることなく、体験を基にして水戸市の国際交流・異文化理解の促進に寄与することを期待いたします。

最後に、このプログラムに携わった関係者並びに学生親善大使を受け入れて下さいましたアナハイム市姉妹都市委員会の皆様に、心から感謝申し上げます。

We are very happy to report that all Mito Student Ambassadors in 2015, headed by Mr. Ono returned to Mito safely. They stayed with families of Anaheim from July 24 to August 3. They studied American culture and history and deepened their understanding and friendship of both cities.

The friendships and experiences will enrich their lives by helping them overcome the differences of history, culture and language. I am convinced that knowing each other will play an important role in becoming more internationally oriented individuals.

I hope that this experience motivated the student ambassadors to contribute to promote international exchange and cross-cultural understanding in Mito.

In closing, I would like to express my gratitude to all of the people concerned in this program, both of the City of Mito and Anaheim. Also many thanks to the members of Anaheim Sister City Commission for hosting our students. Thank you very much.

President of Mito City International Association
Yuichi Hataya

目 次

～CONTENTS～

Ⅰ．平成２７年度水戸市学生親善大使派遣事業概要・・・・・・・・・・・・・ i
MITO STUDENT AMBASSADORS 2015 SUMMARY

Ⅱ．平成２７年度学生親善大使名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ii
LIST OF STUDENT AMBASSADORS

Ⅲ．日程、日誌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
SCHEDULE, DIARY

Ⅳ．ホストファミリー紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
HOST FAMILIES

Ⅴ．親善大使の報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
AMBASSADOR REPORT

Ⅵ．感謝の言葉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
WORD OF APPRECIATION

Ⅶ．“おまけ”ページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
BONUS PAGES

Ⅷ．参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
BACKGROUND INFORMATION

平成27年度　水戸市学生親善大使派遣事業

1　目的

水戸市内の学生を水戸市と国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

2　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

3　概要

（1）　派遣期間　平成27年7月24日（金）～8月3日（月）（11日間）

（2）　派遣先　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
アナハイム市姉妹都市委員会承認の市民ボランティア宅にて
ホームステイ

（3）　派遣人数　学生親善大使8名（他に親善大使を引率する団長、国際交流協会職員が同行）

（4）　内容

ア　アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修

イ　英語研修

ウ　関係機関、施設等の訪問・見学

エ　水戸市の紹介

オ　ホームステイを通しての市民間交流

4　スケジュール

派遣前後の研修ならびに派遣期間

7月　5日（日） 7月12日（日）　13:30-17:00 7月19日（日）	事前研修
7月24日（金）～8月3日（月）	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
8月23日（日）　13:30-17:00	事後研修

平成 27 年度水戸市学生親善大使団員

氏　名		性別	学校	学年	ホストファミリー
坂本　陸斗	Rikuto SAKAMOTO	男	内原中学校	2	James Dinwiddie& Lori Dinwiddie
井上　智仁	Tomohito INOUE	男	茨城大学教育学部 附属中学校	3	James Dinwiddie& Lori Dinwiddie
大貫　遥加	Haruka ONUKI	女	茨城大学教育学部 附属中学校	2	Ken Smith & Kyoko Smith
深谷　亜紗子	Asako FUKAYA	女	茨城高等学校	1	Anthony Perez & Maria Perez
森田　祐生	Yui MORITA	女	水戸第二高等学校	2	Larry Velasquez& Helen Velasquez
山本　悠夏	Yuka YAMAMOTO	女	水戸第二高等学校	1	Larry Velasquez& Helen Velasquez
茅根　愛菜	Mana CHINONE	女	水戸第二高等学校	1	Gissel Nevarez-Grubbs & Cory Grubbs
松本　涼花	Suzuka MATSUMOTO	女	水戸第一高等学校	1	Gissel Nevarez-Grubbs & Cory Grubbs

（団長）

小野　司寿男	Shizuo ONO	男	水戸市総合教育研究所所長	Joe Carter&Helen Carter

（事務局）

王　偉亜	Wang Weiya	男	(公財)水戸市国際交流協会局長	Nathan Nguyen

☆ Schedule ☆

７月２４日 水戸市出発 （Leave Mito） アナハイム市到着 （Arrive at Anaheim） 	７月２５日 ホストファミリーと過ごす （Host Family Day） ウェルカムパーティー (Welcome Party) 大リーグ観戦 （Angels vs Rangers）
７月２６日 ホストファミリーと過ごす (Host family Day)	７月２７日 市長表敬訪問、消防署視察 （Meet with Mayor ＆ Visit Anaheim Fire Dept.Station）
７月２８日 ディズニーランド （Disneyland） 	７月２９日 ビーチパーティー （Beach Party）
７月３０日 サーカス観賞 （Go to the circus） 	７月３１日 さよならパーティー （Sayonara Party）
８月１日 ホストファミリーと過ごす (Host family Day)	８月２日 アナハイム市出発 (Leave Anaheim)
８月３日 水戸市到着・解散 （Back to Mito）	

第1日目　7月24日(金)

（1 日の行動）

11：30　国際交流センター集合
12：00　出発式
17：00　成田国際空港発
✈✈✈日付変更線通過✈✈✈
11：25　ロサンゼルス国際空港着
17：30　DTCC（ダウンタウンコミュニティーセンター）到着
ホストファミリーと対面後解散
ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

今日はいよいよ出発の日です。みんな少し緊張した面持ちで国際交流センターに集合しました。無事、出発式を終えバスで成田空港に向かいました。

最初はなかなか打ち解けられずにいましたが、バスの中では会話も弾み、仲良くなることができました。

飛行機は約 10 時間のフライトでした。機内で、CA さんにホームステイ頑張ってねと言われ、元気をもらいました。ロサンゼルス国際空港に到着後、ロサンゼルスをバスで少し観光しました。日本よりも広い道路や多い交通量、また一方通行であることに驚きました。昼食はハンバーガーとフライドポテトを食べました。ハーフサイズでしたが、思ったよりも大きく、さすがアメリカだなと感じました。

DTCC に到着し、ホストファミリーと対面しました。みんな優しく歓迎してくれたので嬉しかったです。また、エンジェルスやダックスのグッズもプレゼントしてもらいました。解散した後は、ホストファミリーの家へ向かいました。途中、バレエのショーが行われていたのでホストマザーと一緒に観ました。お土産を渡すととても喜んでくれました。

日本の夏とは違ってアナハイムはカラッとした気候で、過ごしやすいと感じました。

【Haruka】

第2日目　7月25日(土)

（1 日の行動）

午前　　ホストファミリーと過ごす
15：00　　ウェルカムパーティー
18：05　　大リーグ観戦
（対　テキサスレンジャース）

（1 日の様子）

今日は 15:00 からウェルカムパーティーだったので、それまではホストファミリーと過ごしました。

アメリカの朝日を浴びながら朝食をとった後は、ホストファミリーとショッピングに行きました。コストコでは、食べ物が日本と比べてとても安く、食料自給率の差を思い知りました。スターバックスコーヒーでは、日本では飲めない“Cotton candy Frappuccino”を飲みました。甘くて美味しかったです。書店では、日本の漫画の英語版を買いました。“BUY 2 Get 1 Free”という日本にはない文化も味わえました。また、スーパーマーケットでは、日本にはない可愛いシリアルを買いました。最後に行った家電量販店には、日本のアニメ映画の DVD がたくさんあって、日本のアニメの人気を感じました。

家に帰り、お昼ご飯にサンドイッチを作って食べました。勇気を出して“Shall I help you?”と言ったら、仕事を任せてくれたので嬉しかったです。ホストファザーのコリーとホストマザーのジゼルと３人で作ったサンドイッチは、お店で食べたものよりも美味しかったです。

お昼の後は、少し休んで野球観戦に行きました。観戦前のウェルカムパーティーでは、一晩ぶりに仲間に会えてうれしかったです。また、パーティーの後には、グラウンドに入れてもらうという貴重な体験もしました。試合中は、食べたり飲んだりしながら、仲間と一緒に一つのチームを応援するという、アメリカンスタイルの楽しさを知りました。残念ながらエンジェルスは負けてしまいましたが、美しい花火が上がりました。

今日は、「アメリカの文化」を学び、「アメリカの人々の優しさ」を感じた一日でした。
コリーとジゼルは、疲れているはずなのに、私を気遣ってくれました。そんな二人とこれから過ごす時間がより一層楽しみになり、夜はなかなか寝付けませんでした。

【Suzuka】

第3日目　7月26日（日）

（1 日の行動）

終日　　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

今日は初めて一日中ホストファミリーと過ごす日です。きのうの野球観戦で疲れていた私は、遅くまで寝てしまい、決めた時刻に起きることができませんでした。でも、ホストファミリーは「あなたが疲れていることはよく知っているよ」と優しく言ってくれました。

朝食の後、私たちは南カリフォルニアのリゾート地、ラグーナビーチに連れていってもらいました。車ごとフェリーに乗って、きれいな景色を眺めることができました。出かけ先で、私のホストマザーはよく私たちの写真を撮っていました。どうやら、フェイスブックに投稿しているようでした。

昼食は、魚料理が食べられるレストランに行きました。どれを注文していいか分からない私たちに、ホストマザーが、分かるまで丁寧に何回も教えてくれました。

昼食後もビーチ周辺を散策したり、「Sawdust Art Festival」というガラスや絵画などがあるワークショップに行ったりして、とても楽しい時間を過ごしました。

夕食はタイ料理のレストランに行きました。ホストファミリーは私たちに「多くの国の料理にチャレンジしなさい」と言ってくれました。確かに、車で移動する間にも、いろいろな国のレストランを見かけました。アメリカは多民族国家であるということを、改めて実感しました。

普段、家に帰ると部屋にいることが多い私ですが、この日の夜は思い切ってヘレンに折り紙をしようと誘ってみました。ヘレンは折り紙に大変興味を持ったようで、自ら積極的に折ろうとしていました。折り方が分からなくて一緒に悩んだり、出来上がった作品を写真に撮ったりして、たくさんコミュニケーションをとることができて、とても嬉しかったです。

終日ホストファミリーと一緒にいることに最初は不安もありましたが、本当に楽しくてあっという間の一日でした。

【Yuka】

第4日目　7月27日（月）

（1 日の行動）

9：00　DTCC 集合
10：30　消防署視察
12：00　昼食、センターストリート視察
15：00　市長表敬表問
16：00　市議会議事堂視察
17：00　DTCC で解散

（1 日の様子）

第 4 日目の今日は消防署、センターストリート、市役所に行きました。最初に DTCC で準備をしてから、徒歩で消防署に向かいました。消防署で驚いた事は 2 つあります。消防車の大きさと消防士の方々の優しさです。正直、消防士の方々は無愛想なのかなと思っていました。しかし、それは大外れで、とても気さくな優しい人達でした。消防車や仕事、建物について詳しく話してくれたので、とても勉強になりました。昼食は IN - N - OUT バーガーに行き、Emily がお店の裏メニューを出してくれて、とても美味しかったです。昼食後はセンターストリートに行きました。ビルに彫られている水戸市からのメッセージを見つけました。

次に市役所に行き、市長である Tom Tait 氏に会いました。この方もとても気さくで、僕のぎこちない英語での質問に対しても分かりやすく答えて下さって、本当に嬉しかったです。DTCC に戻る前に議事堂にお邪魔しました。

アナハイムという街をよく知ることができた 1 日でした。

【Rikuto】

第5日目　7月28日（火）

（1 日の行動）

8：30	DTCC 集合
9：00	ディズニーランド アトラクション （Radiator Springs Racers と Luigi's Flying Tires）に みんなで乗る
10：30	自由行動
20：30	World of Color をみんなで鑑賞
23：00	ディズニーランド出発
23：30	解散

（1 日の様子）

待ちに待ったこの日。世界で初めて開設されたこのカリフォルニアディズニーランドリゾート。特別なうえに今年は 60 周年で、私たちはとてもウキウキしていました。

まず初めに、Cars Land で 2 つのアトラクションにみんなで乗りました。スピードが速くて、アメリカの迫力を早々に感じました。自由行動では、ホストファミリーの Lauren, Jessica, Anthony が私たちを案内してくれて、約 10 個のアトラクションに乗ることができました。その中でも、みんなで乗った Tower of Terror は日本のものと比べものにならないくらい怖くて、激しくて、楽しかったです。私たちは、あれに乗ったらもう何も怖くないと思えるほどの達成感を味わいました。また、私たちがとてもびっくりしたのが、Grizzly Peak です。ここまでぬれて大丈夫なのディズニー？と思うほどビショビショになりました。

私たちは、ほとんどのアトラクションにシングルライダーとして乗りました。言葉も、どんなアトラクションかも分からないのに一人で乗り、不安でいっぱいでしたが、だれともフレンドリーで友達のように話をすることができました。さすがアメリカです。

World of Color では水、光、火の大迫力のショーで、Walt の名言、"If you can dream it, you can do it."という言葉が出てきて、世界初のディズニーランドということを実感しました。心から感動し、自分の夢をかなえようと思いました。忘れられない日になりました。

【Mana】

第6日目　7月29日（水）

（1 日の行動）

8：30	DTCC 集合、研修
9：00	MUZEO 見学
12：30	パッキングハウスにて各自昼食
14：00	水戸橋訪問
15：30	ビーチパーティー
17：00	現地解散

（1 日の様子）

この日の午前中は MUZEO 見学、パッキングハウスを訪れました。MUZEO では、アナハイム市の歴史や、当時のアメリカの人々の文化などを、学芸員の方に説明していただきました。しかし、とても話すスピードが速くて内容も難しく、聞き取れた部分が少なかったのがとても残念でした。

昼食を終え、水戸橋へは車で 1 時間弱（みんな寝てしまっていて正確な時間はわかりませんが）かけて行きました。とてもきれいな敷地の中にその橋はあり、隣には住宅街がありました。普通に観光でカリフォルニアに来たとしたら、絶対と言っていいくらい行かないところだなと思い、とても得した気分になりました。水戸橋は「日本文化」という言葉がしっくりくるようなとても素敵な日本独特の橋でした。私たち大使はそこで記念写真を撮り、ビーチへと向かいました。

ビーチに着いて、私たちはすぐに海へと走りました。しかし、水着になって泳いだのは中 3 の男の子と中 1 の私のホストブラザーだけでした。他のみんなは砂浜で貝殻探しをしたり、フラフープをしたりフリスビーをしたりして遊びました。前日のディズニーでは、全員で「Jumping picture」を撮れなかったのでリベンジしましたが、今度はあと一人足りなくてまた失敗でした。

【Asako】

第7日目　7月30日(木)

（1 日の行動）

8：30	DTCC 集合
9：00	ホンダセンターへ移動
10：30	サーカス鑑賞 ダウンタウンディズニーで ショッピング
17：00	DTCC で解散

（1 日の様子）

午前中はサーカス鑑賞でした。開演前には出演するピエロの人と一緒に写真を撮ったり、衣装を着せてもらったりしました。また、ジャグリングや象のパフォーマンスのリハーサルも少しだけ見ることができました。

いよいよ開演です。ラクダや象、トラ、プードルなどたくさんの動物が芸をしました。猛獣なのに犬のように芸をするトラが面白かったです。トランポリンを使ったアクロバットや、大車輪が空中を華麗に動く姿はとても格好良かったです。

私たちはスイートルームでサーカスを鑑賞しました。飲み物、お菓子、フルーツ、チキンをホンダセンターの人が用意してくれました。とても良い待遇を受け、本当に感謝しています。

サーカス鑑賞後、ダウンタウンディズニーでショッピングをしました。ディズニーランドで買えなかったものなどを各自買いました。私はフローズンドリンクを飲んでみました。今日は暑かったので、より美味しく感じました。

【Haruka】

第8日目　7月31日(金)

（1日の行動）

8：30	DTCC集合 研修(ホストファミリーのLoriに教えてもらいながら生け花作り)
12：00	お昼御飯(ピザ)
12：40	さよならパーティーの準備
14：00	ホストファミリーと帰宅
18：00	さよならパーティー本番
21：00	DTCCで解散

（1日の様子）

この日はさよならパーティー本番の日でした。生け花は花を刺す台に葉っぱを巻き付けたり、横にも花を刺したりしたので、日本との違いに驚きました。昼食を食べ、さよならパーティーの練習をした後、一旦帰宅し、再びDTCCに集合しました。

さよならパーティーが始まり、ホストファミリーと一緒に食事をした後、今まで練習してきたA bit of Japanを披露する時が来ました。もちろん、8人だけの合唱もホストファミリーのみんなとの合唱も大成功で、学校での合唱とは違った一体感を味わうことができました。その後、僕は1人でヲタ芸を踊りました。意外とアナハイムの人達にはうけましたが、案の定と言うべきか、日本の女子達にはひかれました。（泣）

今まで過ごしてきた中で、楽しかったことや困ったことなどが思い出されみんな泣きそうでした。再びこの場所に集うことを誓い、それぞれ帰宅しました。

【Tomohito】

第9日目　8月1日(土)

（1 日の行動）

終日　ホストファミリーと過ごす

（1 日の様子）

この日は、午前中に川で金を探し、午後は小野団長と一緒にカーレースを見に行きました。

午前中の金探しでは、冷たい川の水に入り、冷たさに耐えながら川底の泥を掘っていました。自分で皿の様な物を揺らしながら探す方法と、川の流れを利用した特殊なふるいにかけて探す方法の 2 つがあり、正直腰が痛くなりました。金は見つかったのかというと・・・なんと見つかりました！！！まさか見つかるとは思いませんでした。しかもその金の一部を Jim が僕達にくれたのです！！物の価値以上に何か大きなものをもらった様な気がしました。

午後のカーレースはもう大盛り上がりでした。僕もはしゃいでいたので、口に入れていたものが出そうになりましたが、レースを生で見るのは人生初だったので、とても興奮しました。コースは陸上競技用のトラックとほぼ同じで 2 種類の大きさがあり、そこを様々な形のレーシングカーが、30 周から 35 周くらい走っていました。僕達は 4 種類のレースを見ました。小型やトラックの形をしたレーシングカーがありました。特に、最後に見た一般的な形のレーシングカーのレースが見応えがありました。あのレースには僕も団長も「スゲェな」と言うしかありませんでした。

【Tomohito】

第10・11日目　8月2日(日)・8月3日(月)

（1 日の行動）

8：00　DTCC 集合
8：45　DTCC 出発
9：45　ロサンゼルス国際空港着
11：45　ロサンゼルス国際空港発
✈✈✈　日付変更線　✈✈✈
14：30　成田空港着
17：15　水戸市国際交流センター着
解散

（1 日の様子）

私にとって何もかもが初めての経験だったアナハイムでの 10 日間の生活があっという間に過ぎ、とうとうお別れの日が来てしまいました。

朝起きて、最後の日がついに来てしまったと残念に思いながら支度をしていると、今までのアナハイムでの生活が思い出されました。ホストマザーが毎日出してくれた美味しい食事、毎朝 DTCC に送ってもらう時にホストファザーが車の中でラジオの音楽に合わせて歌うかわいい歌声・・・。何もかもが最後になってしまうと思うと、とても寂しい気持ちで一杯でした。

DTCC に集合し、お世話になったホストファミリーはもちろん、様々な面で私達を支えてくれた Katie 先生やアナハイム市姉妹都市委員会の Jackie など、たくさんの人と最後のお別れのあいさつをし、記念写真を撮りました。そして、バスに乗る前にたくさんの人とハグをして、またアナハイムに戻って会うことを約束しました。

【Yui】

Our host families

Thank you so much !!
We love you all ♥

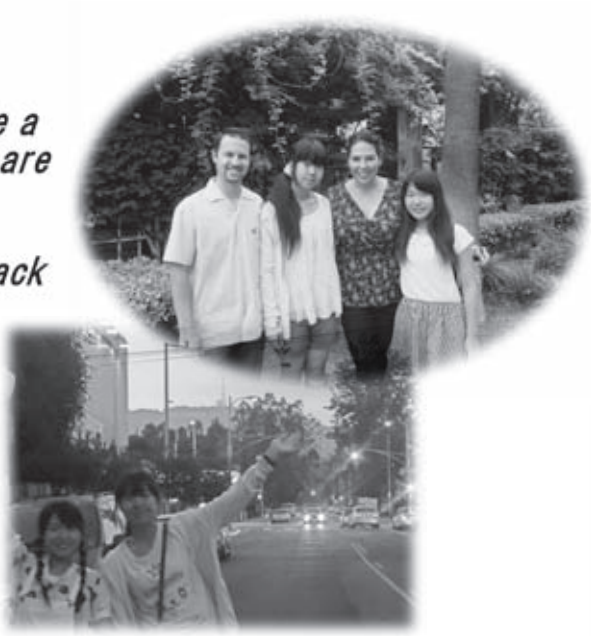
THEY ARE OUR ANOTHER FAMILY

Thank you for being my family 10 days. We couldn't stay long time. But the short time is our great precious and unforgettable experience. We want to visit you again when we improve our English ! Please wait for us.

TOMOHITO&RIKUTO

Our host family☆

Dear Gissel and Cory,
Thank you for everything.
We are very happy because we could have a wonderful time with you and you said "we are your DAD and MAM".
Your kindness always made us happy.
We will never forget you and we will go back to Anaheim to see you again.
We love you and we miss you.
Suzuka Claire , Mana Maria



Yui and Yuka's family♥

Thank you for everything .

Larry, thank you for driving us everywhere and you are a good singer !
Helen, thank you for talking us many Times. We wanted to talk to you more.
Chelene, thank you for your kindness.

We are looking forward to seeing you again♪

✿My Family✿

Thank you for accepting me☺
You are very beautiful family.

I never forget you.
I wanna go back to this family soon. Thank you so much.
I love you and miss you.
Asako Sophia

My host family

Thank you for everything. I had a wonderful time with you.
Ken, you are very good at folding Origami. Your jokes are always funny!
Kyoko, you talk to me in simple English, thank you so much.
I miss you!!

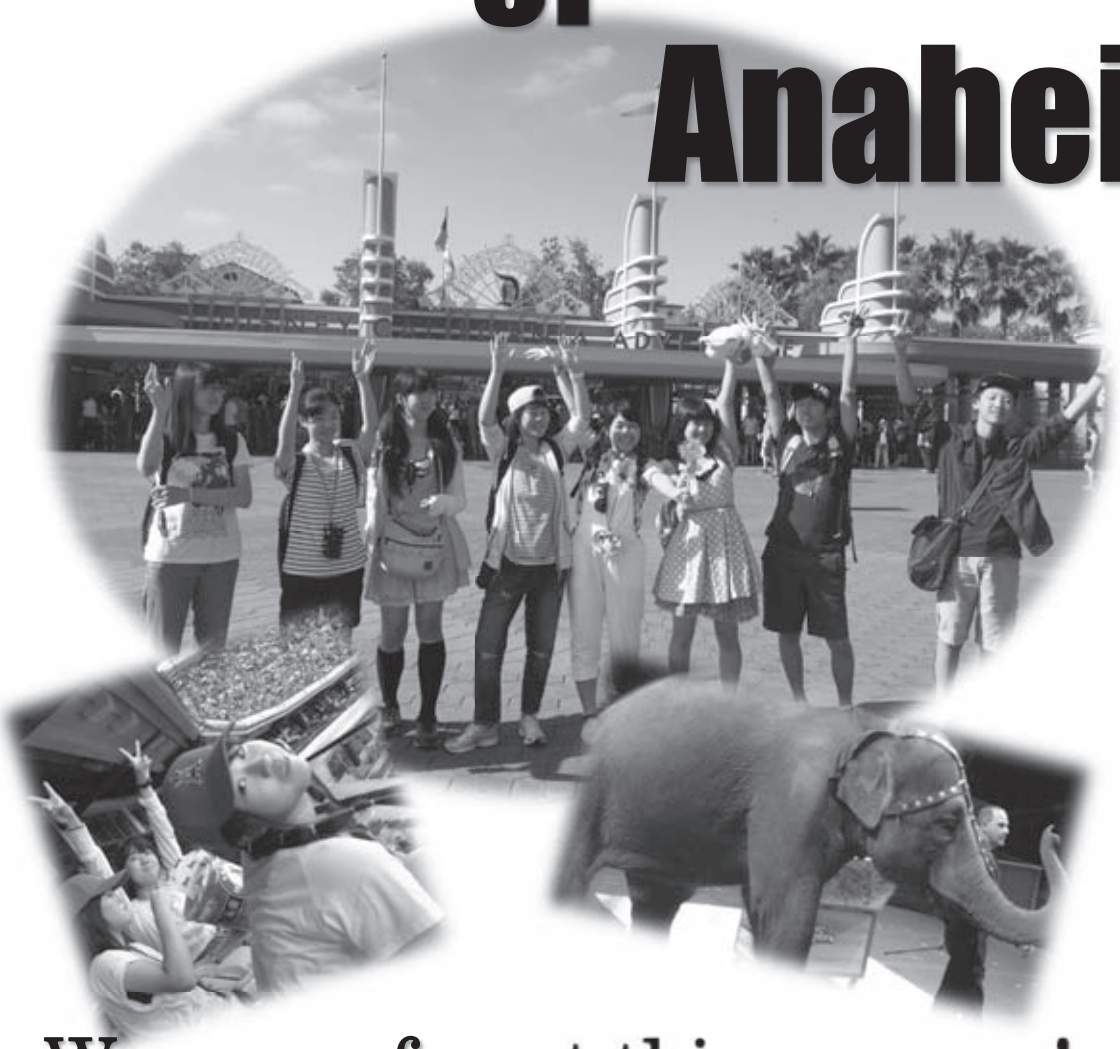
Haruka

Dear Joe and Helen、

Thank you very much for everything
Congratulations on your 65th Wedding Anniversary.
Please be a happy and nice couple forever.
I'll never forget the days with you and Cleo in Anaheim.

Shizuo

Report of Anaheim



We never forget this summer!

難しいコミュニケーションと優しいホストファミリー

— Difficult communication and my kind host families —

井上　智仁
Tomohito INOUE

この 10 日間のホームステイでは色々な体験をしました。例えば、人生初のディズニーランドで 2 回ぐらい泣きそうになったり、日本語が殆ど通じない環境下で、別の言語でコミュニケーションをしたりすることです。案の定、とても難しかったです。自分の滑舌が悪いということもありますが、経験がまだまだ浅いせいか、すぐに自分の言いたいことを英語にして伝えることができず、どうしても片言の英語でしか話すことができないことがありました。さらに、相手が何を話しているのか聞き取れないこともありました。しかし、日を重ねるうちに次第に耳が慣れ、完全では無くても相手の意図した事は何とか聞き取ることが出来るようになりました。発音は相変わらずですが。

難しいコミュニケーションとは対照的に、ホストファミリーはとても優しかったです。夕食は外食をすることが多かったのですが、そのお金を全て払ってくれたり、家でテレビを見ている時に、何かしら話題を持ちかけてくれたので、沈黙の時間が流れる事はありませんでした。

元来、僕は物事やコミュニケーションには積極的でしたが、アメリカの人達は僕以上にノリが良かったです。さよならパーティーの時に躊躇なくヲタ芸ができたのも、そのおかげだと思います。

ホストファミリーの優しさを感じて、やはりこういった人々の優しさが、より良い都市を作るのに大切なことだと思います。

たくさん迷惑も心配もかけたと思いますが、それでも最善を尽くしてくれたホストファミリーには本当に感謝しています。

Dear Jim, Lori, and other host families.
Thank you for everything during my staying in Anaheim. I could spend wonderful times, and get the greatest experiences in my life. It was interesting and important for me, because I want to work at the UNICEF to save poor people. Through this experience, I rethink about Mito city’s good points. I like to talk with someone, but American people talked more than me, so I tried to talk with them more. If we can, let’s meet again someday!!
Tomohito　Tom　INOUE

初めての海外　— My first trip to a foreign country —

大貫　遥加
Haruka ONUKI

私は、今回が初めての海外でした。飛行機に乗るのも、出国、入国審査、税関審査ももちろん初めてで、とても不安でいっぱいでした。また、ホストファミリーと仲良くなれるかどうかも心配でした。しかし、実際にアナハイムに着いてみると、アメリカの開放的な雰囲気が、私のシャイな性格を直してくれて、どんどん話してみようという気にさせてくれました。

私は一人でホームステイをしました。着いたときはどんどん話すぞと思っていたのですが、いざホストファミリーが話している様子を見たり、飛び交う英語を聞くと、何を言っているのか分からなくて、タジタジになってしまいました。最初のうちは、Yes と No、OK くらいしか言えず、もっと日本で英会話の勉強をすればよかったと後悔しました。だんだん耳が英語に慣れてくると、周りの人が言っていることや、ホストファザーのジョークなども聞き取れるようになりました。話すことが楽しくなって、拙い英語でも頑張って話すようになりました。

この 10 日間は、見るもの聞くものすべてが新鮮でした。驚いたことも、勉強になったこともたくさんあり、良い経験になりました。参加できたことを誇りに思います。

最後に、今回の研修に携わり支えてくれたすべての人に心から感謝します。10 日間本当にありがとうございました。

Dear Ken and Kyoko,
Thank you for everything. I had a good time with you! These 10 days were very exciting for me!! I don’t forget this trip. I want to come back to Anaheim.
When you spoke to me, I couldn’t speak English very well. So I’m going to study English harder.
You bought 2 caps for me. Thank you for embroidering our names on the caps. I was so happy and my brother rejoiced a lot! It is my treasure.
We enjoyed steak at Hungry Bear. It was delicious! I’d like to go to the restaurant with you again.
I’m looking forward to seeing you again.
And please say hello to Kiki.
Please keep in touch.
Haruka

最も大切な事 — The most important thing —

坂本　陸斗
Rikuto　SAKAMOTO

外国人とのコミュニケーション力。それが僕が今回の滞在で身に付けたものです。しかし、それはハイレベルな英文法を駆使したものではありません。中学レベルの簡単なものです。会話をする相手は外国人で、更に初対面となると、自分という存在を英語で分かるように伝えなければなりません。また、今回分かった事ですが、アメリカの人々は早い応答を求めるので、すぐ反応して答えなければいけません。したがって、僕は簡単な英語しか使うことができなかったのです。イントネーションが下手なので、間違って聞きとられてしまう事も少なくありませんでした。そんな僕に対して、向こうの家族をはじめとする沢山の方々が、しっかり聞いて、ゆっくり答えてくれました。僕はそれがとても嬉しくて、自分から話を切り出すことができるようになり、会話を楽しいと感じるようになりました。しかし、それは相手が気を遣ってくれているから、という事実を僕は知っていました。その事実は、僕の英語力のレベルを表しているという事も分かっていました。ですから、その気遣いに心から感謝して、アナハイムに戻る時まで努力していきます。

そして 10 日間にわたる滞在で分かった最も大切な事。それは「会話を楽しむ事」です。とにかく楽しまないと何も身につかないと思います。その事を最も大切な事として、物事に取り組んでいこうと思います。

最後に貴重な機会を与えて下さった関係者全ての人に心から感謝します。

Dear my another family,
I could make great memories with you. The memories are my treasure. I miss you, but please don’t be sad. I won’t forget memories and kindness of you. You are not just my host family. You are my another family. I’ll come back someday. So, please wait for me a little. I really love you forever. Thank you Jim, Lori, James, Jon, Shirley, Jana, and breakfast from JACK IN THE BOX. See you then.
Rikuto

アナハイム最高！— Anaheim is awesome! —

茅根　愛菜
Mana CHINONE

アナハイムに行く前、私はとても興奮していました。私はアメリカの文化や生活に憧れていて、ずっとホームステイをしたいと思っていたからです。今まで勉強してきた英語をたくさん使おうと心に誓って水戸を出発しました。フライトを経て、待ちに待ったアメリカに着きました。アメリカで初めに驚いたのは、トイレです。トイレのドアの下のスペースが広くあいていました。また、液体せっけんが押しても出てこなくて周りに聞いたら、「手を直接石鹸に入れるのよ」と言われて、びっくりすると同時にアメリカ「かっこいい！」と思いました。

苦労したことは、英語の発音です。発音が少し違うだけで全然伝わらなかったので、これからはテストのためだけでなく、将来のための勉強をしようと思いました。また、たくさんの方と話をしましたが、「なんでそう思うの？」とか、「茨城県の端から端は何km?」「車でどのくらいかかるの？」と聞かれました。

憧れていた生活を実際に体験して、想像以上に興奮しました。食べ物のおいしさ、人々のフレンドリーさ、映画館の様子、気候、景色、レディーファーストなど。体験したすべてが私の性格にぴったりでした。水戸に生まれ住んでいること、アナハイム市と姉妹都市であること、すべてのことが奇跡ですべてのことに感謝しています。アナハイム市長、ディズニーキャスト、ホストファミリーに伝えた自分の夢を叶えて、また私の第2の故郷、アナハイムに帰りたいです。

成田空港やディズニーランドで英語をたくさん使い、多くの人と友達のように話しながら交流ができてよかったです。アメリカ、アナハイムがとても恋しいです。

Dear Cory and Gissel,
Thank you for taking care of me like a real daughter. I could go many places, drink a cotton candy frappucino, see a movie, and experience a lot of American foods. I also could use coins thanks to your help. Everything looked like American movies and I was excited. Cory, you were a gentleman and I liked it☺ Gissel, I liked Mexican food (spicy food) and oatmeal☺
Dear everyone,
I laughed a lot because of the STATUE OF LIBERTY!! (STUDIO GHIBLI?!?!) Without your support, we couldn’t enjoy our time in Anaheim. Thank you for your kindness. Everything I experienced in Anaheim was so much fun!! I will make my dream come true and go back to Anaheim!! I love America! I love Anaheim! I love you! I miss you.

Mana

一人きりでのホームステイ　— Home staying alone —

深谷　亜紗子
Asako FUKAYA

私はこの夏、知らない土地の会ったことのない家族の家にホームステイしました。
私は家庭に入るまで、知らない土地で日本語も通じないところに、10 日間も一人でステイできるのか不安でした。その不安は DTCC に着いたと同時にこみ上げてきて、私はホストファミリーたちに会う前に少し泣いてしまいました。
しかし、ホストファミリーたちは、私のつたない英語でもしっかり理解しようと聞いてくれました。また、私の部屋として用意されていた部屋には、サプライズとして私の大好きなアメリカのキャラクターグッズが山積みになっていました。会ったことのない私の為に、ここまでしてくれたことにとても嬉しくなり、私の不安はすぐに消えました。
アナハイムでの 10 日間は毎日が充実していて、あっという間に終わってしまいました。帰る前日、最初は不安で泣いていた私が、「帰りたくない」とリビングで泣いてしまいました。それは、ホストファミリーをはじめとするアナハイム市の皆さんが、私たちにとても良くしてくれて、まだまだ未熟で会話もつたない私たちを広い心で受け入れてくださったおかげだと思います。
アナハイムに行き、私には将来の夢ができました。それは留学生のコーディネーターになることです。知らない土地に来て、母国語でない言語を使って生活することがどんなに大変なことか。そして、そんな自分を支えてくれる周りの人たちの有難さをわかっている私だからこそできるお手伝いがあると思ったからです。
アナハイムでの 10 日間は、私にとってとても貴重な経験になりました。アナハイムに行かせてくれた水戸市国際交流協会の関係者や、送り出してくれた家族、一緒に旅をした親善大使のみんな、本当にありがとうございました。

Dear. Dad, Mom, Lauren, Jessica, Anthony

Thank you for everything. I had a very good time with you.
I was worried to go to America when I was in Japan. And I cried when I arrived at DTCC. But you were so kind to me. I was very happy. And I was looking forward to stay your home.
Thank you for accepting me. I really love you so much.
I hope to see you again soon. And, please come to Mito Japan.
I will never forget this summer and you. I miss you.

Asako.Sophia.FUKAYA

アナハイムで確かに築いてきたもの
— The thing that I established during my stay in Anaheim —

松本　涼花
Suzuka MATSUMOTO

アナハイムで過ごした 10 日間は、初めてのこととアナハイムの人々の優しさで溢れた最高のものでした。

最初は、相手が言っていることがうまく聞き取れませんでしたが、相手は私が理解できるまで何度も言ってくれました。そうしてくれたおかげで、私のリスニング力は上がり、徐々に一度で聞き取れるようになっていきました。また、私は普段の会話で気づいたことがあります。それは「コミュニケーションで大切なのは、正しい文法よりも、伝えたいと思う気持ち」ということです。私が何かを伝えたいとき、きちんとした文法が思い浮かばなくても、キーワードやニュアンスで理解してもらえました。伝わったときはとても嬉しかったです。私は、アナハイムに行くまで、「コミュニケーション力とは、正しい文法できちんと話すこと」だと思っていたので、これは大きな発見でした。

さらに私は、アナハイムでかけがえのないものを手に入れてきました。それは「絆」です。一緒にアナハイムに行った 7 人の仲間はもちろん、ケイティー先生やジャッキーさん、そしてホストファミリーとの「絆」です。テレビから「アメリカ」というワードが出てくると、「何かあったのかな？心配だな」とテレビに釘付けになってしまいます。私が日本に帰ってくるときは、ホストファミリーが「Have a safety trip」と、心配していてくれました。黄門まつりの花火大会の時は、美しい花火をホストファミリーの二人にも見せたくなり、写真を撮って送りました。「たとえ離れていても相手のことを想う」これが国境を越えた、海を越えた「絆」なんだと、しみじみ感じます。また、7 人の仲間とは、今でも頻繁に連絡を取り合っています。

この親善大使派遣が私にくれた、「貴重な学び」と「人とのつながり」。これらを大切にしながら、夢に向かって努力していきたいです。

Dear Gissel and Cory,
Thank you for everything during special 10 days.The time spent with you is my treasure in my life. I will never forget that you took me a lot of places, you taught me the history of Anaheim and how to use American money, we watched a lot of movies together, and we talk together.
I will study very, very hard and I will go to Anaheim to see you again.
I miss you and I love you.

Suzuka Claire Matsumoto

コミュニケーションをとるうえで大切なこと
— The important thing for communication —

森田　祐生
Yui MORITA

アナハイムで過ごした 10 日間は、海外への渡航・ホームステイ、何もかもが初めてだった私にとって、とても新鮮で貴重な経験でした。行く前から、初めての海外にとても興奮していましたが、その反面、果たして自分の英語力でアナハイムの人達とコミュニケーションがとれるのか不安でもありました。

滞在中、始めのうちはホストファミリーの話すスピードが速いため、何を言っているのか聞き取れないことが多く、これから生活していく中で上手くやっていけるのかとても心配でした。しかし、英語だけの生活が始まると、だんだん耳も慣れてきて質問も理解できるようになり、Yes, No で答えるだけでなく自分の気持ちを伝えられるまでになりました。ある日、私達は夕食にホストファミリーがお気に入りのタイ料理屋さんに連れて行ってもらいました。そこで飲んだタイのアイスティーが本当に甘かったので、私は「This is too sweet！」と思いきって言うと、彼らは笑ってその飲み物やタイ料理について話をしてくれて、いつもより沢山の会話ができました。その時、私は自分から会話のきっかけを作れたような気がしてとても嬉しかったです。そして、怖がらずに自分が感じたことを素直に相手に伝えることは、コミュニケーションをとるうえでとても大切であることを改めて感じました。

あっという間の研修でしたが、多くのことを学ぶ事ができ、充実した日々を過ごすことができました。今回の研修を通して、自分の英語力がまだまだ未熟なことを痛感したので、これからは今まで以上に英語力の向上に励んでいきたいです。最後に、このような素晴らしい思い出を作ることが出来たのは、私達を支えてくださった方々のおかげです。本当にありがとうございました。

Dear Larry, Helen and Charlene
I'll never forget staying with you for 10 days. I was able to learn a lot about American culture.
I was very happy because you talked to me a lot.
If I could, I would like to talk to you more, but actually it was difficult.
I can't tell you when I will meet you again, but when we have reunion, you will be surprised by how much I get matured.
I hope to keep in touch with you.
Anyway, thank you so much! I love you all.
Sincerely yours,
Yui

優しさに感謝　— Thank you for your gentleness —

山本　悠夏
Yuka YAMAMOTO

私は、今回初めて海外に行きました。人見知りで口下手な私は、最初は心配で仕方がありませんでした。ホストファミリーと仲良くなれるのか、言語も文化も全く異なるアメリカで 10 日間も過ごせるのか。多くの不安を抱きながら出発しました。でもそのような心配を忘れるくらい、楽しい毎日を過ごすことができました。

正直、初日はドキドキでしたが、不安な私を救ってくれたのはアメリカ人の人柄でした。初めてホストファミリーとレストランに行ったとき、ホストファザーが注文を受けに来た店員さんと仲良く会話をしていました。2 人は友達という訳ではありません。どこに行ってもそうでした。私たちに話しかけてくれた店員さんもいました。必要最低限の会話しかしない日本人と違い、アメリカ人は誰とでも友達のように話します。そんなとてもフレンドリーなアメリカ人の人柄に私は少し安心しました。

アメリカに行って感じたことは、自分の単語力の無さです。ホストファミリーやケイティ先生は、なるべく易しい英語で話してくれていたのでしょうが、分からない単語も多々ありました。せっかくアメリカに慣れてきて英語が聞き取れるようになっても、単語の意味が分からなければ答えることはできません。中学や高校で少し勉強しただけの単語量では、圧倒的に足りないと感じました。これが日本に帰ってきてからの課題となりました。それでも日本に帰りたくないと思うほど楽しい生活ができたのは、たくさんの周りの支えがあったからです。このプログラムに携わって下さった方々や、現地で出会った人々、そして親善大使の仲間達には感謝してもしきれません。本当にありがとうございました。

Dear my Host family,
Thank you very much for everything during my stay. I was happy to meet you. I had a valuable experience. I learned that it was important not to be afraid of make mistakes. I will never forget this experience.
I miss you now. I wanted to talk with you more, but I couldn’t talk well. I’m studying English hard now. I’ll become able to talk with you more and come back to Anaheim! I’m looking forward to seeing you and listening your songs again. Please come to Japan. Then, I will guide you around Japan!!
Thank you very much!!
Yuka YAMAMOTO

感謝のことば

平成 27 年度水戸市学生親善大使
公益財団法人水戸市国際交流協会

10 日間という短い間でしたが、たくさんの方々の支えがあり、私たちはアナハイム市での滞在を心から楽しむことができました。とても感謝しています。私たちのために、準備やプログラムの計画をして頂き、本当にありがとうございました。

私たち 8 人は、このプログラムを通して、アナハイム市の人々の温かさ、同市の歴史を実際に見て肌で感じることができました。この経験を通して、アナハイム市のことがもっともっと好きになりました。10 日間で出会った方々との出会いを大切にして、これからもアナハイム市を訪れたいと思います。

私たちを受け入れてくれたホストファミリーの方々、たくさんのサービスを提供してくれた人々、そしてたくさんお世話をしてくれた姉妹都市委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

To everyone who supported us,
Thank you for your support, we enjoyed staying in Anaheim for 10 days.
We really appreciated your kindness.
We learned about Anaheim and came to love this city more and more.

We are lucky, because we are connected with you by an eternal bond!!
We will study English harder and improve our skills, and we will visit our second home, Anaheim again.
Visiting Anaheim was so much fun!!!!　Thank you very much for everything.
We hope to see you again. We love you.

☆☺ Best Shot ☺☆

We are exchange students from Mito !

8人の仲間たち☆Host family gave middle name for us.

Asako Sophia FUKAYA

カメラを向けると決め顔 or 変顔
最高級の変顔
ばうばう
マイリトルポニー大好き
服がプリンセス
アンソニー大好き
元気な人

Suzuka Claire MATSUMOTO

優しいお姉さん
ダル絡みの女王(姉)
カップル
ピンク大好き
古文大好き
頼れる先輩
オールウェイズハングリー

Haruka Dayle ONUKI

皆の妹的存在
ダル絡みの女王(妹)
カップル
頼れる妹
賢そう
意外と変人
面白いけど落ち着いている

Mana Maria CHINONE

皆のプリンセス
衝撃の納豆アイス
水戸とアナハイムのお姫様
パワフルプリンセス
ムードメーカー
お転婆

Rikuto Bob SAKAMOTO

誰に対してもジェントルマン
VANS ボーイ
くーるがい
ジェントルマン
一番現実見てそう
キャップ男子
いつも静か

Tomohito Tom INOUE

いつでも自撮りしてる
早口
オタ芸
スケアリー
ブラックパーカー

Yuka Bambang YAMAMOTO

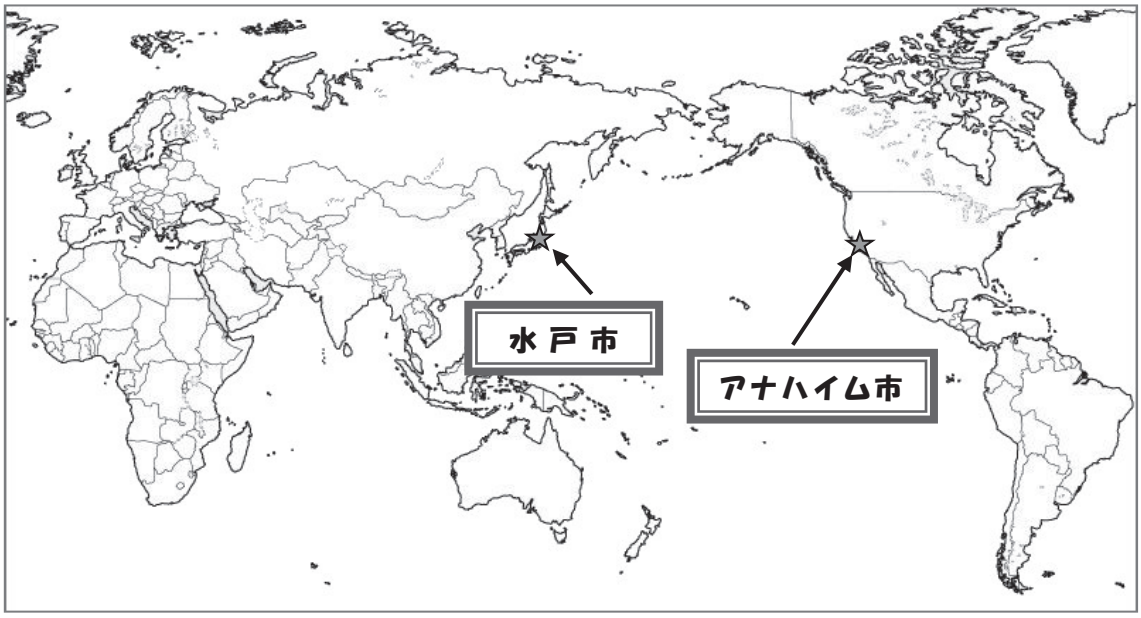
クール
被り物系が似合う
隠し撮り大好き美少女
パパが大好き
タイチー
スケボー大好き

Yui Kitty MORITA

優しくて、かわいい先輩
頼れるお姉さん
みんなの赤ちゃん
パパとミニオンが大好き
落ち着いている
静か

参考資料

～ Background information ～



- 募集要項　　（Guidelines for applicants）
- 相互訪問の軌跡、両市のプロフィール（People exchanges, city profiles）
- 新聞記事　　（Newspaper article）
- 事前研修の様子　　（Pre-visit training）

平成27年度水戸市学生親善大使 募集要項

１　目的

市内の学生を水戸市の国際親善姉妹都市であるアナハイム市へ派遣し、海外でのホームステイを通して国際的な視野に立つ人材を育成するとともに、両市の相互理解と友好親善を深めます。

２　主催

公益財団法人水戸市国際交流協会、水戸市、水戸市教育委員会

３　事業概要

⑴　派遣期間　平成27年7月２４日(金) ～8月3日(月) (１１日間)

⑵　派遣先　　アメリカ合衆国 カリフォルニア州 アナハイム市
　　市民ボランティア(※)宅にホームステイ
　　（※ホストファミリーの経験が豊富であり、アナハイム市姉妹都市委員会が認める者）

⑶　派遣人数　8名(この他、親善大使を引率する団長・協会職員が同行する。)

⑷　親善大使としての活動内容

ア　アナハイム市での活動

㈠　アメリカ合衆国及びアナハイム市の歴史や文化等の研修
㈡　英語研修
㈢　関係機関、施設等の訪問・見学
㈣　水戸市の紹介
㈤　ホームステイを通しての市民間交流
㈥　姉妹都市交流の推進、市役所表敬訪問
㈦　その他

イ　事前活動

アナハイム市での活動を効果的に行うため、事前研修を行います。

ウ　事後活動

アナハイム市での活動内容を報告書にまとめるとともに、今後、公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の実施する国際交流推進事業に積極的に参加していただきます。

４　募集人数

8名　（中学生　３名　高校生　５名）　※応募の状況によっては変更する場合もあります。

５　応募資格

下記のすべての資格・条件を満たさない場合、申込みは受付けません。
応募に際して英検等の資格は必要ありません。

⑴　平成27年4月1日現在、満13歳以上17歳まで(平成9年４月２日から平成14年４月１日までに生まれた方) であること

⑵　中学校、高等学校、高等専門学校などの学校教育法第一条に定める教育施設に在学中であること

⑶　本人又は本人と生計を一にする家族が水戸市内に住んでいること(平成27年5月１日現在)

⑷　協調性に富み、事業計画に従って規律ある団体行動及び生活ができること

⑸　派遣前後に行われる研修等に参加し、派遣後も公益財団法人水戸市国際交流協会及び水戸市の国際交流推進事業に積極的に参加できる者

⑹　過去に水戸市学生親善大使としてアナハイム市を訪問していないこと

６　応募方法

⑴　提出書類　**※ア及びウは、応募者の自筆とする。ただし、アの承諾事項は保護者の自署とする。**

ア　参加申込書(様式第１号)　１通（裏面の承諾事項を含む）

イ　82円切手を貼った返信用封筒　１通(本人のあて先を記入したもの。)

ウ　作文　【題名】「水戸市学生親善大使となって何を学びたいか」
　　【規格】　A4規定用紙を使用、横書８００字以内
　　※学校名、学年、氏名を必ず記入すること

エ　現住所確認のため、本人と生計を一にする家族の運転免許証コピー（おもて面とうら面の両方）
　※　運転免許証がなければ、住民票のコピーを提出してください

⑵　提出期間　平成27年5月8日(金) ～6月２日(火)

⑶　提出先　公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町６－59　　TEL 029-221-1800

水戸市国際交流センター内

(開館時間　午前9時～午後9時。月曜日、5月3～7日は休館)

⑷　提出方法　持参又は郵送すること。(郵送の場合は当日消印有効)

７　選考及び決定

選考は、当協会の選考要項に基づき、選考委員会が行います。

⑴　第１次選考　書類審査

選考の結果については、6月11日(木)までに本人の現住所へ送付します。

⑵　第２次選考　面接（簡単な英会話を含む）、集団討論

ア　期日　平成27年6月１４日(日)

イ　時間　未定（第１次選考の合格者に郵送で通知）

ウ　場所　水戸市国際交流センター

選考の結果については、6月19日(金)までに本人の現住所へ送付します。（※選考の結果は各応募者あてに通知いたします。学校あてには通知いたしませんので、あらかじめご了承ください。）

８　スケジュール

７月　５日(日) ７月１２日(日) ７月１９日(日) } 午後１時30分～５時	事前研修 （水戸市・アナハイム市の概要及び英会話等）
７月２４日(金)～８月３日(月)	アナハイム市へ派遣（ホームステイ）
８月２３日(日) 午後	事後研修
９月～１１月	報告書作成

※　場所：水戸市国際交流センター（アナハイム市派遣を除く）

９　費用

この事業に要する費用のうち、次に掲げる費用は、参加者の個人負担とします。

⑴　水戸市～アナハイム市間の交通費等(※現地での活動費USドル150を含む)：約21万円(内５万円を協会より補助する)　※燃油サーチャージは別途。

⑵　自由行動時の個人的な費用

⑶　個人的な保険料

⑷　その他疾病又は傷害の治療費用

１０　親善大使の取消し

⑴　親善大使として決定された後であっても、不適格と認められる行為又は事実があった場合には、資格を取消すことがあります。

⑵　出発後の取消しは、団長が行います。この場合、親善大使を直ちに帰国させるものとし、帰国に要する費用は、本人の負担とします。

１１　旅行の取消し

申し込み後、事業への参加を取りやめたときは、旅行約款に基づく取消し料を負担していただきます。

１２　個人情報の取扱い

応募書類に含まれる個人情報については、当協会の個人情報保護規程に基づき厳重に管理し、親善大使選考及び選考に付随する業務のために利用します。

問合せ　公益財団法人水戸市国際交流協会

〒310-0024 水戸市備前町６－59

TEL：029-221-1800　FAX：029-221-5793

E-mail：mcia@mito.ne.jp　URL：http://www.mitoic.or.jp

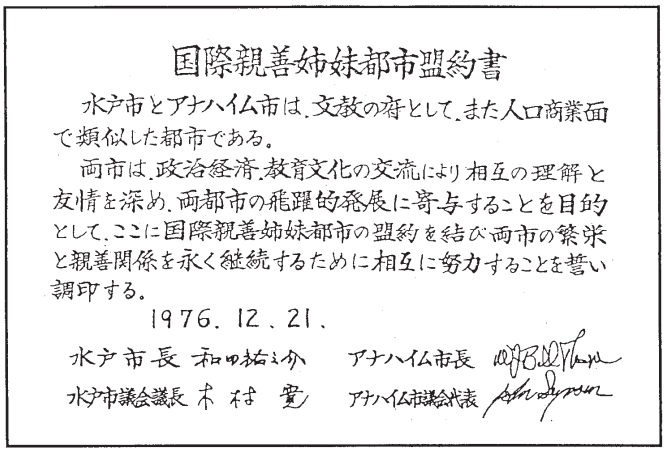
※本派遣事業は渡航者の安全確保を最優先させますので、今後の国際情勢によっては、応募後であっても中止する場合があります。ご承知おきください。

水戸市とアナハイム市の交流

水戸市とアナハイム市との交流は、昭和 49（1974）年アナハイム市在住の水戸出身の実業家が、恩師をアナハイム市に招待したことを契機として始まりました。その後の様々な人的交流が実を結び、アメリカ合衆国建国 200 年祭にあたる昭和 51（1976）年 12 月 21 日、両市は国際親善姉妹都市を締結しました。姉妹都市となった両市は、幾多の交流活動を重ね今日に至っています。

学生親善大使の往来について、水戸市からアナハイム市への派遣は、昭和 63（1988）年の第 1 回以来、今回の派遣を含め 25 回実施され、計 466 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からは、昭和 60（1985）年を第 1 回として、これまで 26 回派遣され、計 94 人が水戸市を訪問しました。

このほか、水戸市使節団のアナハイム市への派遣は、昭和 51（1976）年の姉妹都市調印式を第 1 回として 31 回行われ、のべ 914 人がアナハイム市を訪問しました。アナハイム市からの使節団は昭和 51（1976）年を第 1 回として、これまで 19 回派遣され、のべ 419 人が水戸市を訪れました。（平成 27 年 9 月 1 日現在）



国際親善姉妹都市盟約書

水戸市とアナハイム市は、文教の府として、また人口商業面で類似した都市である。

両市は、政治経済、教育文化の交流により相互の理解と友情を深め、両都市の飛躍的発展に寄与することを目的として、ここに国際親善姉妹都市の盟約を結び両市の繁栄と親善関係を永く継続するために相互に努力することを誓い調印する。

1976. 12. 21.

水戸市長 和田拓三郎　　アナハイム市長

水戸市議会議長 木村 實　　アナハイム市議会代表

ー両市のプロフィールー

	水戸市（Mito）	アナハイム市（Anaheim）
人口	270,957 人 （2015 年 8 月 1 日現在）	346,997 人 （2014 年現在）
面積	217.45 km^2	130.7 km^2
標高	最高 160.0 m 最低　0.1 m	最高 52 m（170 ft） 最低 37 m（120 ft）
緯度	北緯　36 度 21 分 57 秒	北緯　33 度 50 分 10 秒
経度	東経 140 度 28 分 17 秒	西経 117 度 53 分 23 秒
気候	平均気温：13 ℃ 年間降水量：1,326 mm 温暖湿潤気候	平均気温：21 ℃ 年間降水量：249 mm 地中海性気候
市の花	ハギ（Bush Clover）	キンセンカ（Calendula）
市の木	ウメ（Plum）	マグノリア（Magnolia）
市制施行	1889 年（明治 22 年）	1857 年

新聞掲載記事

・茨城新聞　平成 27 年 7 月 25 日

吐玉泉

▲水戸市が国際親善姉妹都市の米国アナハイム市に派遣する「学生親善大使」の出発式がきのう、同市備前町の市国際交流センターで開かれ、中学・高校生8人と団長の小野司寿男・市総合教育研究所長が成田空港に向けて出発した＝写真。

▲大使の派遣は1988年に始まり、今年で25回目。一行はホームステイやアナハイム市長との懇談、消防署の見学などを通して、英会話や米国の文化、歴史を学ぶ。8月3日に帰国する予定。

▲高橋靖市長は「堂々と役割を果たしてきてほしい」と激励した。大使を務める県立水戸二高1年の山本悠夏さん(16)は「アメリカの日常生活に触れることで、文化の違いを学びたい」と意欲を語った。

・ANAHEIM BULLETIN　平成 27 年 7 月 30 日

COURTESY OF KATIE FILBECK

Students pose in front of Angel Stadium with the iconic Angels Mickey standing in the back. Taking in a baseball game was one of the experiences the students from Mito, Japan, are having while in Anaheim.

MITO

FROM PAGE 1

"Their schedules are packed so they can be a little jet-lagged," said Katie Filbeck, who serves as a teacher for the visiting students. "But, we are going to Disneyland so hopefully that warms them up to each other."

The students are selected from all over Mito and didn't previously know each other.

"Teaching this program for two years now, I realized that the students are a little shy because they all come from different schools," Filbeck said. "After they get to know each other, they are more talkative."

The students go through a rigorous process to qualify for the exchange program, Wang said. Only one student group is brought each year.

"We picked eight students based on essays and interviews on what they wanted to learn in America and why they wanted to come to America," he said.

By the end of the trip, Filbeck said the students will have made many new memories because each day is packed with activities and events.

"Around the last day of trip, we have a class show performance," she said. "and it is really cool thing to do with all the kids because by then, everyone is more comfortable with each other."

Japanese students visit Anaheim for a taste of American sister city

BY ELAINE LEE
STAFF WRITER

For eight teens from Mito, Japan, Sunday will mark the end of a whirlwind 8-day foreign exchange trip to Anaheim filled with tours of California landmarks and signature foods.

"Because we are the sister city with the city of Anaheim, we have these programs so that the students can learn American culture and learn to speak English," Wang Weiya, general manger of the Mito City International Association, said. "This program has been going on for over 30 years, ever since we became sister cities with Anaheim."

The students stay with host families who provide insights into daily American life.

"I came here to learn American culture and music," Matsumoto Suzuka, 15, said. "I like it here with my host family and we went shopping and watched movies together."

The students' tour includes visiting Disneyland, eating at In-N-Out Burger, meeting the mayor, watching an Angels game and touring an Anaheim fire station.

SEE MITO • PAGE 9

COURTESY OF THE CITY OF ANAHEIM

Exchange students from Mito, Japan, and Anaheim firefighters are all smiles when they meet.

派遣前の様子（Photos before leaving for Anaheim）

結団式
Inauguration ceremony

研修初日
1st day of the seminar

アナハイムについての勉強
Study about Anaheim

A bit of Japan の練習
Preparation for “A Bit of Japan”

出発式
Departing ceremony

出発式
Departing ceremony

3 日間の研修
その間に大使としての心構えを高め、
アナハイムへと旅立ちました。

アナハイムへ出発
Leaving for Anaheim

編集後記

編集委員一同

今年は８名の水戸市学生親善大使がアメリカのアナハイム市へ派遣されました。

始めに、今回の派遣事業にあたって、身の回りのお世話をしてくださったホストファミリーの方々に深く御礼申し上げます。また、引率の小野団長、事務局の王さんにも御礼申し上げます。

親善大使一同、今回の派遣で培った様々な能力を生かし、それぞれの夢に向かって進んでいこうと思います。

ホストファミリーの方々には重ねて御礼申し上げます。

これから水戸市とアナハイム市との関係が深まり続けることをお祈りして、編集後記とさせていただきます。

We could enjoy staying in Anaheim city. We were very glad to meet you. So, let us meet again in Anaheim. Thank you for everything. We hope that the relationship between Mito and Anaheim will be continued more strongly and forever.

WE ARE GREAT FAMILY FOREVER.

ANAHEIM 2015

平成 27 年度水戸市学生親善大使派遣の記録

編集　平成 27 年度水戸市学生親善大使
発行　公益財団法人水戸市国際交流協会